

出エジプト記 23:10-19; 31:12-18; 35:1-3 聖別された時間

先週、出エジプト記で、十戒に続く二章を学びました。この部分は他者への接し方に関する多くの規則を含んでいました。ここで重要なことは、出エジプト記 19 章から 31 章にかけて、モーセが神と対話し律法またはモーセの契約を受け取っている点です。十戒は律法の基礎を成しますが、それだけでは十分に神の御心を示しているとは言えません。神は特定の戒めが持つ意図を示すため、さらに詳細な指示を与えられました。本朝、出エジプト記から、安息日を聖別するという第四の戒めに関連する三つの聖書箇所を見ていきます。第四の戒めを出エジプト記 20 章 8-11 節から読みます。

出エジプト記 20 章 8-11 節 **安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。9 六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。10 七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはいかなる仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子や娘も、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、またあなたの町囲みの中にいる寄留者も。11 それは主が六日間で、天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造り、七日目に休んだからである。それゆえ、主は安息日を祝福し、これを聖なるものとした。**

本日取り上げる三つの箇所は安息日の概念から始まりますが、通常の安息日の休息に加え、神が聖別された日や期間、すなわち神を礼拝しその安息を楽しむために献げられた日や期間が存在したことが分かります。出エジプト記が聖なる時について最後に言及する箇所から始めたいと思います。

出エジプト記 35 章 1-3 節 **モーセはイスラエルの全会衆を集めて、彼らに言った。「これは、主が行えと命じられたことである。2 六日間は仕事をする。しかし、七日目は、あなたがたにとって主の聖なる全き安息である。この日に仕事をする者は、だれでも殺されなければならない。3 安息日には、あなたがたの住まいのどこであっても、火をたいてはならない。」**

これらの節は、イスラエルの礼拝の中心である幕屋の建造に関する指示の前に記されています。そしてこれらは、モーセが新しい契約の石板、すなわち十戒を受け取った直後に続きます。この第二の石板が必要となった理由については、数週間後に論じます。安息日に関するこの短い三節の戒めは、これらの出来事の間に挟まれていると場違いに思えるかもしれませんが、それは安息日の遵守が、イスラエルの神との契約関係においていかに中心的な位置を占めていたかを示しています。その重要性の理由は、それが、少なくとも神に栄光をお返しするために契約を守ろうとしていることを、誰にでも明らかな形で示す、定期的な外的な方法となるはずだからです。

この週ごとの遵守は、他の戒めでは必ずしも明らかではなかったこと、すなわち人が真に主を敬っているかどうかを明らかにしました。火を灯すといった最も小さな行為でさえ、契約と安息日の主への忠誠を明らかにしたのです。さて、私たちは安息日の戒めがキリスト教の安息日として日曜日に移行したとは考えていません。むしろそれは、マタイ 12 章 8 節で安息日の主であるキリストにおいて成就したのです。 **マタイの福音書 12 章 8 節** **人の子は安息日の主です。**

しかし原則は変わりません。神の民は、他の信者と共にキリストにある安息を祝い、礼拝のために一日を目に見える形で聖別することが求められています。ペンテコステ以降、教会は週の初めの日、すなわちキリストの復活の日に集まりました。そして新約聖書を見ると、真にキリストに従う者たちが、キリストのからだである教会と共に集い、新約聖書の互いになになにし合うという命令をすべて実践することでキリストを高く掲げるという明確な期待が示されています。ヘブル人への手紙 10 章 24-25 節はこれをはっきりと伝えています。

また、愛と善行を促すために、互いに注意を払おうではありませんか。25 ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合ひましょう。その日が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか。

礼拝を欠席することは第四の戒めを破ることになると言っているのでしょうか？ いいえ。しかし、キリストの体である教会にほとんど集まらないなら、あなたは安息日の主との契約の交わりの中に生きていないというメッセージを送っているのです。キリストに従うとは、通常、地域教会の会員として

積極的に参加することを意味します。イスラエルにとって、安息日を守らないことは死を意味しました。私たちにとって、主日を軽んじて肉体的には害を及ぼさないかもしれませんが、霊的には確実に害を及ぼします。

次に、出エジプト記で安息日について扱っている第二の箇所、出エジプト記 23 章 10 節から 19 節を見ていきましょう。10 節から 13 節では、安息日が日単位だけでなく年単位でも説明されています。

出エジプト記 23 章 10~19 節 六年間は、あなたは地に種を蒔き、収穫をする。 11 しかし、七年目には、その土地をそのまま休ませておかなければならない。民の貧しい人々が食べ、その残りを野の生き物が食べるようにしなければならぬ。ぶどう畑、オリーブ畑も同様にしなければならぬ。 12 六日間は自分の仕事をし、七日目には、それをやめなければならぬ。あなたの牛やろばが休み、あなたの女奴隷の子や寄留者が息をつくためである。 13 わたしがあなたがたに言ったすべてのことを守らなければならぬ。ほかの神々の名を口にしてはならぬ。これがあなたの口から聞こえてはならぬ。

安息日の原則はあらゆる領域、土地、家畜、労働者、家族にも及びます。神の休むようにと言う御命令から免除されるものはありません。イスラエルには理解できなかったことが、今や農学的見地からとても理に適っています。日本の稲作農家も、2~3 年ごとに水田を休ませたり、何らかの輪作を行って土壌の養分を回復させています。

しかし神の御命令は、主に作物の収穫量を増やすためではありませんでした。安息日の休息は、人々や家畜、さらには収穫されなかった作物の恩恵を受ける貧しい人々のためであることを強調するためでした。これはキリスト教の安息日を重視する人々が時に理解を欠く点です。もし安息日が、私たちを回復させ活気づける行為を行うことよりも、むしろ禁止事項のリストを遵守することに主眼を置くのであれば、主の安息日の真意を見失っていると言えるでしょう。イエス様はこれをマルコの福音書 2 章 27 節で確証されました。**そして言われた。安息日は人のために設けられたのです。人が安息日のために造られたものではありません。**

しかし前の箇所で見たとおり、安息日を守ることは、契約に参加したいというあなたの願いを公に示します。畑が休耕している様子や、労働者と動物が休んでいる様子は、近隣の人々の目に留まったことでしょう。おそらくこれは輪番制で行われていたため、全員が同時に休むわけではなく、ある年は隣人がこの戒めを守っている様子を別の隣人が確認できたでしょう。13 節が警告するように、安息日への従順は神への忠誠を示すものです。

13 わたしがあなたがたに言ったすべてのことを守らなければならぬ。ほかの神々の名を口にしてはならぬ。これがあなたの口から聞こえてはならぬ。

神を礼拝するとは、ただ神の御名のみを崇めることであり、安息日はその忠誠を宣言する目に見える方法であり、第四の戒めだけでなく最初の二つの戒めにも従うことを示しました。安息日を守ることは、ただ神のみを礼拝したいという願いを示しました。またそれは、神を礼拝する中で他者への愛を示したいという願いをも示しました。休耕した畑が貧しい者や野の獣たちにも利益をもたらすこと、そして従業員たちも毎週の安息日の休息から恩恵を受けるという事実の中に、このことが表れています。その後、この箇所は安息日の休息から安息日の祝宴へと移り、14 節から 19 節に至ります。

14 年に三度、わたしのために祭りを行わなければならぬ。 15 種なしパンの祭りを守らなければならぬ。わたしが命じたとおり、アビブの月の定められた時に、七日間、種なしパンを食べなければならぬ。それは、その月にあなたがエジプトを出たからである。何も持たずにわたしの前には出でなければならぬ。 16 また、あなたが畑に種を蒔いて得た勤労の初穂を献げる刈り入れの祭りと、年の終わりに、あなたの勤労の実を畑から取り入れるときの収穫祭を行わなければならぬ。 17 年に三度、男子はみな、あなたの主、主の前には出なければならぬ。 18 わたしへのいけにえの血を、種入りのパンと一緒に献げてはならぬ。また、わたしの祭りのための脂肪を朝まで残しておいてはならぬ。 19 あなたの土地の初穂の最上のものを、あなたの神、主の家に持って来なければならぬ。あなたは子やぎをその母の乳で煮てはならぬ。

覚えておいていただきたいのは、13 節で述べられた要点は、これらすべてが私たちに神のみを礼拝するという献身を促すものであるということです。そしてこれらの祭りは単なる食事ではなく、公同礼拝行為でした。17 節がこれを明確にしていることに注目しましょう。そこではこれらが、**主の前に出なければならぬ**時であると記されています。男子について言及されていることから、おそらく家族単位での集まりであったのでしょう。しかし共同体全体が神の御前に集い、収穫の最も良いものを献げ、神の備えを祝ったのでした。それぞれの祭には具体的な指示がありました。過越の小羊と共に無酵のパンを供えること、初穂を神に献げること、そして子やぎをその母の乳で煮るといった異教の礼拝慣習を神の礼拝と混同しないこと。要点は明白です。神の民は神のみを礼拝し、その礼拝を偶像礼拝と混同してはならないということです。

中心は礼拝でしたが、これらの祭には喜びがありました。過越の祭はエジプトからの神の救いを思い起こさせました。作物の収穫は長い月日の労働の終わりを告げました。これらは喜びの季節であり、礼拝に根ざした喜びでした。ジョン・パイパー師がしばしば言うように、私たちの最大の喜びは神に最大の栄光を帰することにあります。イスラエルの祝祭は、神の新しい契約の民が共にキリストを賛美する喜びを先取りしていました。礼拝と献げ物の結びつきにも注目しましょう。イスラエルは収穫の最も良いものを献げました。新約聖書では、私たちはキリストにある喜びから惜しみなく献げます。パウロはコリント人への第二の手紙 8 章 2 節で、マケドニアの信徒たちを称賛しています。彼らは**満ちあふれる喜び**ゆえに、自分の力の限界を超えて献げたのでした。**コリント人への手紙第二 8 章 2 節 彼らの満ちあふれる喜び**

真の安息日の礼拝には、惜しみなく差し出された喜びに満ちた献げ物が含まれます。結局のところ、これらの祝いは私的なものではなく共同体のものだったのです。家族全体や隣人たちが主の御前に集まりました。同じように、クリスチャンは孤立した休息にではなく、共に集まっての礼拝に喜びを見出します。私たちは恵みを得るために安息日の律法を守るのではなく、キリストにある安息を祝い、教会として共にキリストを高く掲げるためです。しかし最後に、安息日について扱った聖書箇所があと一つだけ残されています。出エジプト記 31 章 12~18 節、それを読みましょう。

出エジプト記 31 章 12~18 節 主はモーセに告げられた。 13 「あなたはイスラエルの子らに告げよ。あなたがたは、必ずわたしの安息を守らなければならない。これは、代々にわたり、わたしとあなたがたとの間のしるしである。わたしが主であり、あなたがたを聖別する者であることを、あなたがたが知るためである。 14 あなたがたは、この安息を守らなければならない。これは、あなたがたにとって聖なるものだからである。これを汚す者は必ず殺されなければならない。この安息中に仕事をする者はだれでも、自分の民の間から断ち切られる。 15 六日間は仕事をする。しかし、七日目は主の聖なる全き安息である。安息日に仕事をする者は、だれでも必ず殺されなければならない。 16 イスラエルの子らはこの安息を守り、永遠の契約として、代々にわたり、この安息を守らなければならない。 17 これは永遠に、わたしとイスラエルの子らとの間のしるしである。それは主が六日間で天と地を造り、七日目にやめて、休息したからである。」 18 こうして主は、シナイ山でモーセと語り終えたとき、さとしの板を二枚、すなわち神の指で書き記された石の板をモーセにお授けになった。

この箇所締めくくりたいと思っていました。なぜなら、安息日を覚えて聖なるものとするというこの第四の戒めの重要性が、ここに明確に示されているからです。

出エジプト記 20 章 8 節 安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。

覚えておられれば、出エジプト記 35 章 1 節から 3 節に始まった、出エジプト記の最後の箇所は、二つの代わりの石の板を受け取った後に続いています。この箇所は、モーセが十戒が記された最初の二つの石の板を受け取る場面です。二組の石板が用意された理由については後ほど改めて論じますが、ここで重要なのは、神がモーセ、ひいては民に対して最後に与えた言葉が、安息日の重要性和安息日破りの深刻さであったという点です。

一般的に、人が最後に語ることは大きな重みを持ちます。それは多くの場合、相手があなたに覚えてほしい最も重要なポイントです。そして神は、私たちが安息日を守ることを望んでおられるようです。なぜでしょうか？

17これは永遠に、わたしとイスラエルの子らとの間のしるしである。 In これまで三箇所では指摘してきたように、安息日はイスラエルが神に属する目に見えるしるしでした。新約聖書では割礼が神の民の印として議論の対象となりましたが、ここでは神が安息日の休息に焦点を当て、神の民であることの契約のしるしとしました。そしてこの箇所は、私たちが神の民となること、神と正しい関係にあることの根拠が、神によって聖別されることにありと明らかにしています。主たるポイントは単なる休息ではなく、聖化でした。13 節に記されているように

わたしが主であり、あなたがたを聖別する者であることを、あなたがたが知るためである。 聖別されるとは、罪のない聖なる者とされることである。聖さなくしては、私たちは神から隔てられたまま、神の怒りの下に置かれたままです。

イザヤ書 59 章 2 節 むしろ、あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。

ローマ人への手紙 3 章 23 節 すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず 罪は私たちが神の怒りの下に置きました。**エペソ人への手紙 2 章 3~9 節** 私たちもみな、不従順の子らの中にあって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。

しかし良い知らせは、キリストに在って、神が私たちの力では成し得なかったことを成し遂げてくださったことです。エペソ人への手紙 2 章は 4 節でこう続きます。

4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、**5** 背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。**6** 神はまた、キリスト・イエスにあって、私たちをともによみがえらせ、ともに天上に座らせてくださいました。**7** それは、キリスト・イエスにあって私たちに与えられた慈愛によって、この限りなく豊かな恵みを、来たるべき世々に示すためでした。**8** この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。**9** 行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。

神が私たちを聖別してくださらない限り、この世の安息日を守る行いはすべて、私たちを神との関係を正すことはできず、私たちの罪によって断たれた神との関係を回復することもできません。しかし神は、私たちが受けるにふさわしくないものを与えてくださいました。私たちはそれを恵みと呼び、罪の罰から救ってくださったのです。それが可能なのは、キリストにおいて私たちは聖別され、聖なる者とされているからです。

コリント人への手紙第一 6 章 11 節 あなたがたのうちの有人たちは、以前はそのような者でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。

ですから、イスラエルの民は安息日を守ることで聖別されたわけではありません。私たちも教会に行くことで聖別されるわけではありません。彼らは、神が救い主を与えてくださると信じることで罪から救われ、聖なる者とされました。私たちも、その救い主であるイエス・キリストを信じることで救われ、聖別されるのです。そして今、私たちは聖化を得るために集まるのではなく、聖化を祝うために集まります。救い主イエス・キリストにある安息によって与えられたこの義と聖さを祝うのです。私たちは今も主日に聖別した時間を守りますが、それは命令への応答ではなく、より良い契約とイエス様にのみある永遠の安息を与えるために私たちの代わりに死なれ、復活された救い主への応答なのです。祈りましょう。

Exodus 23:10-19; 31:12-18; 35:1-3 Holy Time

Last week in the book of Exodus, we looked at the two chapters following the ten commandments that as a section included a lot of rules for how to treat other people. Now, remember that what is happening here in Exodus is that basically from chapter 19 through chapter 31 Moses is talking to God and receiving the law or the Mosaic Covenant. While the 10 commandments form the foundation of the law, that was not the full extent of it. God gave further instructions to show what he intended with certain of his commands. Today, we want to look at three different passages in Exodus that deal with the 4th commandment to keep the Sabbath day holy. We read the 4th commandment in [Exodus 20:8-11](#) ⁸“Remember the Sabbath day, to keep it holy. ⁹Six days you shall labor, and do all your work, ¹⁰but the seventh day is a Sabbath to the LORD your God. On it you shall not do any work, you, or your son, or your daughter, your male servant, or your female servant, or your livestock, or the sojourner who is within your gates. ¹¹For in six days the LORD made the heavens and the earth, the sea, and all that is in them, and rested on the seventh day. Therefore the LORD blessed the Sabbath day and made it holy. The three passages we will look at today begin with the idea of sabbath, but we will see that in addition to regular sabbath rest, there were other days and periods that God said were set apart or holy, dedicated to worship him and enjoy his rest.

I want to start with the last place Exodus mentions holy time—[Exodus 35:1-3](#): **35** Moses assembled all the congregation of the people of Israel and said to them, “These are the things that the LORD has commanded you to do. ²Six days work shall be done, but on the seventh day you shall have a Sabbath of solemn rest, holy to the LORD. Whoever does any work on it shall be put to death. ³You shall kindle no fire in all your dwelling places on the Sabbath day.” These verses appear before the instructions for building the tabernacle, the center of Israel’s worship. And they come right after Moses received the new tablets of the covenant law, the 10 Commandments. We will discuss the reason for this need for a second set of tablets in a few weeks. This short three verse reminder about Sabbath may seem out of place sandwiched between these events. But it demonstrates how central Sabbath observance was to Israel’s covenant relationship with God. The reason for its significance was that it would be the regular outward way that would be clear to everyone that you were at least attempting to keep the covenant to bring glory to God. This weekly observance made clear what could not always be seen in the other commandments—whether a person was truly honoring the Lord. Even the smallest act, such as lighting a fire, revealed their loyalty to the covenant and to the Lord of the Sabbath. Now, we do not believe the Sabbath command transfers to Sunday as a “Christian Sabbath.” Rather, it is fulfilled in Christ, who [is Lord of the Sabbath in Matt. 12:8](#). Yet the principle remains: God’s people are expected to visibly set apart a day for worship, celebrating the rest we have in Christ together with other believers. From Pentecost onward, the church gathered on the first day of the week, the day of Christ’s resurrection. And when we look at the New Testament, there is a clear expectation that those who truly follow Christ will gather with the Body of Christ to exalt Christ by living out all the “one another” commands of the New Testament. [Hebrews 10:24-25](#) makes this clear when it says, **24** And let us consider how to stir up one another to love and good works, **25** not neglecting to meet together, as is the habit of some, but encouraging one another, and all the more as you see the Day drawing near. So, am I saying missing a service means breaking the fourth commandment? No. But if you rarely gather with Christ’s body, you are sending the message that you are not

living in covenant fellowship with the Lord of the Sabbath. To follow Christ is normally to actively participate as a member of a local church. For Israel, failing to keep the Sabbath meant death. For us, neglecting the Lord's Day may not harm us physically, but it will certainly harm us spiritually.

Now let's turn to the second passage in Exodus that deals with Sabbath, **Exodus 23:10-19**. Verses 10-13 describe Sabbath not only in terms of days but also years: ¹⁰“For six years you shall sow your land and gather in its yield, ¹¹ but the seventh year you shall let it rest and lie fallow, that the poor of your people may eat; and what they leave the beasts of the field may eat. You shall do likewise with your vineyard, and with your olive orchard. ¹²“Six days you shall do your work, but on the seventh day you shall rest; that your ox and your donkey may have rest, and the son of your servant woman, and the alien, may be refreshed. ¹³“Pay attention to all that I have said to you, and make no mention of the names of other gods, nor let it be heard on your lips. The Sabbath principle touches every sphere—land, animals, workers, and families. Nothing is exempt from God's call to rest. What may not have made sense to Israel, now makes sense agriculturally to us. Even rice farmers in Japan will let a rice paddy lie fallow after 2-3 years or practice some sort of crop rotation to replenish the nutrients in the soil. But God's command was not mainly about better crops. It was to emphasize that sabbath rest is for the benefit of people, animals, and even the poor who would benefit from the unharvested produce. This is a point that those who emphasize a Christian Sabbath sometimes fail to understand. If the Sabbath is primarily about not doing a list of things, rather than doing things that restore and refresh us then I think you have missed the point of the Sabbath. Jesus confirmed this in **Mark 2:27... “The Sabbath was made for man, not man for the Sabbath.”** But just as we have seen in the previous passage, to keep the Sabbath shows in a very public way your desire to participate in the covenant. Neighbors would notice when fields lay fallow or when workers and animals rested. It is likely that this would have been done on rotating years, not everyone at the same time, so one neighbor could see that another neighbor was following this command in a particular year. Sabbath obedience showed loyalty to God, just as verse 13 warns **Pay attention to all that I have said to you, and make no mention of the names of other gods, nor let it be heard on your lips.** To worship God meant exalting His name alone, and Sabbath was a visible way of declaring that allegiance and following not just the 4th commandment but the first 2 commandments as well. Keeping the Sabbath showed your desire to worship only God. And it also showed your desire to show love to others in worship of God as well. We see this in that the fallow fields would benefit the poor and even the wild animals. And in the fact that the employees would benefit from the day of sabbath rest each week as well.

The passage then shifts from Sabbath rest to Sabbath feasts in verses 14-19. ¹⁴“**Three times in the year you shall keep a feast to me.** ¹⁵**You shall keep the Feast of Unleavened Bread. As I commanded you, you shall eat unleavened bread for seven days at the appointed time in the month of Abib, for in it you came out of Egypt. None shall appear before me empty-handed.** ¹⁶**You shall keep the Feast of Harvest, of the firstfruits of your labor, of what you sow in the field. You shall keep the Feast of Ingathering at the end of the year, when you gather in from the field the fruit of your labor.** ¹⁷**Three times in the year shall all your males appear before the Lord GOD.** ¹⁸“**You shall not offer the blood of my sacrifice with anything leavened, or let the fat of my feast remain until the morning.** ¹⁹“**The best of the firstfruits of your ground you shall bring into the house of**

the LORD your God. “You shall not boil a young goat in its mother's milk. Remember, the point just made in verse 13 is that all of this points to our commitment to worship God alone. And these festivals were not just meals but acts of corporate worship. Notice verse 17 makes this clear that these are times to “**appear before the Lord God,**” probably by household since it mentions the men. But the whole community gathered before God, and brought the best of their harvests and celebrated His provision. Each feast carried specific instructions: unleavened bread with the Passover lamb, firstfruits offered to God, and the rejection of mixing any pagan worship practices such as boiling a goat in its mother's milk, with the worship of God. The point is clear: God's people were to worship Him alone and not mix His worship with idolatry. And while the focus was worship, there was joy in these feasts. Passover recalled God's salvation from Egypt. The harvest of crops marked the completion of long months of work. These were seasons of joy, but joy rooted in worship. **As John Piper often says, our greatest joy is found in giving God the greatest glory.** Israel's celebrations pointed ahead to the joy of God's New Covenant people exalting Christ together. Notice too the link between worship and giving. Israel brought the best of their crops. In the New Testament we give generously out of joy in Christ. Paul commends the Macedonian believers, who gave beyond their means because of their “**abundance of joy**” in **2 Cor. 8:2**. True Sabbath worship includes generous, joyful giving. Finally, these celebrations were not private but communal. Whole families and neighbors gathered together before the Lord. In the same way, Christians find their joy not in isolated rest but in gathered worship. We don't keep Sabbath laws to earn favor, but we celebrate the rest we have in Christ by exalting Him **together** as His church.

But finally, we are left with one final passage that deals with the Sabbath, **Exodus 31:12-18**. Let's read these verses. ¹² **And the LORD said to Moses,** ¹³ **“You are to speak to the people of Israel and say, ‘Above all you shall keep my Sabbaths, for this is a sign between me and you throughout your generations, that you may know that I, the LORD, sanctify you. ¹⁴ You shall keep the Sabbath, because it is holy for you. Everyone who profanes it shall be put to death. Whoever does any work on it, that soul shall be cut off from among his people. ¹⁵ Six days shall work be done, but the seventh day is a Sabbath of solemn rest, holy to the LORD. Whoever does any work on the Sabbath day shall be put to death. ¹⁶ Therefore the people of Israel shall keep the Sabbath, observing the Sabbath throughout their generations, as a covenant forever. ¹⁷ It is a sign forever between me and the people of Israel that in six days the LORD made the heavens and the earth, and on the seventh day he rested and was refreshed.” ¹⁸ And he gave to Moses, when he had finished speaking with him on Mount Sinai, the two tablets of the testimony, tablets of stone, written with the finger of God.** I wanted to end with this passage, because it clearly demonstrates the importance of this 4th command to **Remember the Sabbath day, to keep it holy**. If you remember, the last passage in Exodus that we started with Exodus 35:1-3 followed after receiving the two replacement stone tablets. This passage is where Moses receives the initial two stone tablets with the 10 commandments written on them. Again we will discuss the reason for two sets of tablets later, but the important point to see is that again, God's final word to Moses and therefore to the people is the importance of the Sabbath and the seriousness of breaking the sabbath. It is generally true whatever a person says last carries significant weight...it is many times the most important point they are making that they want you to remember. And God seems to want us to keep the Sabbath. Why? ¹⁷ **It is a sign forever between me and the people of Israel...** As I have now pointed out in all three passages,

Sabbath was a visible sign that Israel belonged to Him. In the New Testament, circumcision became debated as a mark of God's people, but here God placed the focus on Sabbath rest as the covenant sign of being on of God's own. And this passage makes clear that what makes us God's people – what makes us right with him- is being made holy by him. The primary point was not simply rest but sanctification. As we read in verse 13, “**that you may know that I, the LORD, sanctify you**”. To be sanctified is to be made holy, without sin. And without holiness, we remain separated from God and under His wrath. [Isaiah 59:2](#) tells us, [but your iniquities have made a separation between you and your God, and your sins have hidden his face from you so that he does not hear.](#) And all of us [have sinned and fall short of the glory of God...Romans 3:23](#). That sin places us under God's wrath. [Ephesians 2:3](#) says [among whom we all once lived in the passions of our flesh, carrying out the desires of the flesh and the mind, and were by nature children of wrath, like the rest of mankind.](#) But the good news is that in Christ, God has done what we could not. [Ephesians 2](#) continues in verse 4... [4 But God, being rich in mercy, because of the great love with which he loved us, 5 even when we were dead in our trespasses, made us alive together with Christ—by grace you have been saved— 6 and raised us up with him and seated us with him in the heavenly places in Christ Jesus, 7 so that in the coming ages he might show the immeasurable riches of his grace in kindness toward us in Christ Jesus. 8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, 9 not a result of works, so that no one may boast.](#) So all the Sabbath keeping in the world without God sanctifying us, would not make us right with God, it would not restore the relationship with him broken by our sin. But God gave us what we did not deserve, and we call that grace, and saved us from the penalty of our sin. That is possible because in Christ we are sanctified, made holy. [1Corinthians 6:11](#) says, [But you were washed, you were sanctified, you were justified in the name of the Lord Jesus Christ and by the Spirit of our God.](#) So, the people of Israel were not sanctified by keeping the Sabbath and we are not sanctified by going to church. They were saved from their sin and made holy by believing that God would provide a savior and we are saved and sanctified by believing in that Savior – Jesus Christ. And now, we don't gather to gain sanctification, but we gather to celebrate our sanctification, this righteousness and holiness we have because of the Sabbath rest that we have in our Savior Jesus Christ. We still recognize and set aside holy time on the Lord's Day not in response to a command, but in response to a Savior who died in our place and rose again to give us a better covenant and an eternal sabbath rest found only in him. Let's pray.